

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	保健Ⅱ		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。				
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	保健Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田山 子織	実務経験	○		
実務内容	総合病院と診療所で看護師として15年勤務をした実務経験を基に、美容に必要な人体の保健と皮膚科学を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～2章)	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格系の演習 (国家試験過去問題) と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第3章～4章)	筋系、神経系の演習 (国家試験過去問題) と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第5章～7章)	感覚器、血液、循環器系の演習 (国家試験過去問題) と解説
4	人体の構造および機能の復習 (第8章～9章)	呼吸器系、消化器系の演習 (国家試験過去問題) と解説
5	皮膚科学 (第1章)	皮膚の構造
6	皮膚科学 (第2章)	皮膚付属機関の構造 1項 毛
7	皮膚科学 (第2章～3章)	皮膚付属器官の構造 2項皮脂腺 3項汗腺 4項爪 皮膚の循環器系と神経系
8	皮膚科学 (第4章)	皮膚と付属器官の生理機能
9	総まとめ	テストを実施する
10	皮膚科学 (第5章)	皮膚と皮膚付属器官の保健
11	皮膚科学 (第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患 1項 皮膚の異常と病態 2項皮膚炎・湿疹・3項 蕁麻疹・4項 薬疹 5項 口唇の疾患
12	皮膚科学 (第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患 6項温熱・寒冷による皮膚障害 7項角化異常による皮膚疾患 8項 色素異常による皮膚疾患 9項 血管腫 10項 脂腺母斑 11項 下肢静脈瘤 12項 分泌異常による皮膚疾患
13	皮膚科学 (第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患 13項 化膿菌による皮膚疾患 14項ウイルスによる皮膚疾患 15項 真菌による皮膚疾患 16項 衛生害虫による皮膚疾患 17項 感染症の皮膚予防 18項 毛と爪の疾患 19項 皮膚の腫瘍
14	総まとめ	テストを実施する
15	解説 皮膚科学 (第6章)	振り返り・解説

16	皮膚科学の復習（第1～2章）	皮膚の構造と皮膚の付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習（第2章～4章）	皮膚の付属器官の構造と循環器系と神経系の演習と解説
18	皮膚科学の復習（第5章）	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習（第6章）	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	文化論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	文化論		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。				
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト: 50% 小テスト: 30% 授業態度: 20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	文化論Ⅰ、美容技術理論Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	提嶋 敏彦	実務経験	○		
実務内容	ファッション業界で20年以上勤務し、ファッション雑貨の縫製会社とジュエリーの製造会社を運営。これら実務経験を基に理容業・美容業の歴史やファッション文化を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治)	明治・大正・昭和の髪型・服装について
2	第3章ファッション文化史日本編 第7.8節 近代(大正)	明治・大正・昭和の髪型・服装について
3	第3章ファッション文化史日本編 第9節 現代Ⅰ(1945~1950年代)	明治・大正・昭和の髪型・服装について
4	第3章ファッション文化史日本編 第9節 現代Ⅰ(1945~1950年代)	明治・大正・昭和の髪型・服装について
5	第3章ファッション文化史日本編 第9節 現代Ⅰ(1945~1950年代)	現代Ⅰ(1945~1950年代)の髪型・服装・化粧について
6	第3章ファッション文化史日本編 第10節 現代Ⅱ(1960~1970年代)	現代Ⅱ(1960~1970年代)の髪型・化粧・服装について
7	第3章ファッション文化史日本編 第10節 現代Ⅱ(1960~1970年代)	現代Ⅲ(1980~1990年代)の髪型・化粧・服装について
8	第3章ファッション文化史日本編 第10~12節 現代Ⅱ(1960~1970年代)	現代Ⅳ(2000年代以降)
9	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
10	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
11	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
13	まとめ	まとめを実施する

14	テスト解説 第3章ファッション文化史日本編 第9節 第10節	テストの振り返り・解説 1980～2000年代の髪型・化粧・服装について
15	総まとめ	総まとめを行う
16	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	運営管理		
必修選択	必修	(学則表記)	運営管理		
開講					
年次	2年	学科	美容科	単位数	1
時間数					30
使用教材	運営管理			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報2

授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。				
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。働く者の立場と、経営者の立場のを理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	嶋田 律子	実務経験	○		
実務内容	西洋骨董品、宝飾品販売、海外買付業務を14年経験した実務経験を基に、美容経営に必要な運営管理の知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション	講師自己紹介/運営管理の授業の概要・価値/授業の受講ルールを理解する
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 第2節 第3節	経営とは何か、経営者の責任、経営の目的を理解する
3	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第4節 第5節	経営戦略とは何かを理解する
4	第2章 理容業・美容業の経営について 第1節 第2節	業界の概要、理容業・美容業を取り巻く社会の変化を理解する
5	第2章 理容業・美容業の経営について 第3節	理容業・美容業における競争を理解する
6	第2章 理容業・美容業の経営について 第4節 第5節	競争の未来図、理容業・美容業の顧客を理解する
7	第1編 第3章 資金の管理 第1節 第2節	資金管理の重要性と資金の流れを把握/収支と損益を理解する
8	第1編 第3章 資金の管理 第3節 第4節	資産と負債、会計の意味や考え方 コストを管理することを理解する
9	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金1税金の種類と支払うタイミングを理解する
10	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金2税金の申告 青色申告と白色申告を理解する
11	第2編人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	人という資源・労働者の権利 やる気とは何か、給与の役割、福利厚生を理解する P48～P61
12	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章 従業員としての視点から 第1節 第2節	社会保険1国民年金を学ぶ
13	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章 従業員としての視点から 第2節	社会保険1厚生年金を学ぶ
14	まとめ	前期授業習得度の確認・前期定期試験
15	振り返り	回答&解説

16	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から 第3節	社会保険2健康保険を学ぶ P 6 8 ~P 7 1
17	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から 第3節	社会保険2国民健康保険・介護保険を学ぶ P 7 1 ~P 7 3
18	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から 第4節	社会保険3雇用保険を学ぶ
19	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から 第4節	社会保険3労働者災害補償保険・マイナンバー制度を学ぶ
20	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章健康・安全な職場環境の実現 第1節 第2節	健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康
21	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章健康・安全な職場環境の実現 第3節 第4節	理容業・美容業に特徴的な健康課題、作業環境に関する健康問題を理解する
22	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から	後期授業習得度の確認
23	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	サービス・デザインの基本を学び、サービス・システム1を学ぶ
24	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	サービス・システム2、新しいサービスをデザインする
25	第3編 顧客のために 第2章 サービス・マーケティング	理容業・美容業のマーケティング、マーケティングリサーチ、サービスの改善を理解する
26	第3編 顧客のために 第2章 サービス・マーケティング	コミュニケーションやコスト、情報活用について理解する
27	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客についての理解を深める。接客の実践1-3を理解する
28	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客におけるトラブル対応を理解する
29	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認
30	解説 総まとめ	後期筆記内容の解説。 運営管理授業全般の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		60
使用教材	美容技術理論Ⅱ		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。				
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト: 50% 小テスト: 30% 授業態度: 20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> 出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石田 祥子	実務経験	○		
実務内容	ヘアサロンにて美容師として6年勤務をした実務経験を基に、美容全般の技術と理論を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	≪ 8章 エステティック ≫ 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング 4. 美容におけるマッサージ理論	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング・基本手技
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマッサージ 7. フェイシャルパック 8. ボディケア技術 9. ボディマッサージ	・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マッサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	≪ 9章 ネイル技術 ≫ 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング	・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア 8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマッサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー&ファイバー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマッサージのポイント・手順、フットマッサージのポイント・手順
5	≪ 10章 メイクアップ ≫ 1. メイクアップ概論 2. 皮膚の生理と構造 3. フェイスプロポーション 4. 色彩について 5. パーソナルカラー	・メイクアップ概論・皮膚の生理と構造、表皮、真皮、皮下組織・フェイスプロポーション、顔の各部の名称・色彩について、色の三属性、色相、明度と彩度、色調・パーソナルカラー、spring, summer, Autumn, winter
6	6. 用具の種類と消毒方法 7. メイクアップ 8. プライダルメイクアップ 9. 肌質別修正メイクアップ	・主な用具の種類、衛生について、手指の消毒、タオル類の消毒、用具の洗い方、ブラシ類、パウダーパフ、アイシャドーチップ、用具の消毒方法、消毒の手順、血液が付着していない場合、血液が付着している、あるいはその疑いのある場合・メイクアップ スキンケア、クレンジング、化粧水、乳液、スペシャルケア・ベースメイクアップ 化粧下地、毛穴補正料、コントロールカラー、ファンデーション、コンシーラー、フェイスパウダー・ブラッシュオンメイクアップ、チーク、ハイライト、シャドー・アイブロウメイクアップ、眉の毛の流れ、眉の形の基本、代表的な眉の形・アイメイクアップ、アイカラー(アイシャドー)、アイライン、アイラッシュカール、マスカラ・リップメイクアップ、代表的なリップライン・プライダルメイクアップ、男性のメイクアップ、スキンケア、カバメイクアップ、眉、シャドー、リップケア・肌質別修正メイクアップ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項

7	10. まつ毛エクステンション	・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、
8	総まとめ	テストを実施する 8章～11章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
9	<< 11章 日本髪 >> 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 5. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
10	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 10. かつら	・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら（かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ）
11	<< 12章 着付けの理論と技術 >> 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 8. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
12	9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 14. 男子礼装羽織、袴着付け技術	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、 帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
13	14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 19. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
14	まとめ	まとめを実施する 11章～13章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
15	解説	テストの振り返り・解説
16	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り
17	美容技術理論Ⅱ 2章・3章	シャンプーイング・ヘアデザイン 重点項目振り返り
18	美容技術理論Ⅲ 4章・5章	ヘアカッティング・パーマネントウエービング 重点項目振り返り
19	美容技術理論Ⅳ 6章・7章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り
20	美容技術理論Ⅴ 総まとめ	美容技術理論Ⅴ 総まとめを行う
21	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
23	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
27	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度		
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	関係法規・制度		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。				
到達目標	美容の業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得を目的とする。				
評価基準	テストおよび小テスト：80% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	嶋田 律子	実務経験	○		
実務内容	10年以上にわたる会社経営の実務経験を基に、美容師法を分かりやすく説明し、美容師法による規制についての知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章 法制度の概要 第1節 第2節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会生活における法の役割 日本の法令体系
2	第1章 法制度の概要 第3節 第4節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第2章 衛生行政の概要 第1節 ~ 第3節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第3章 理容師法・美容師法 第1節 第2節	「美容師法」の目的 「美容師法」で用いられる用語の定義
5	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許取得までの過程
6	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許の申請と欠格条件
7	まとめ	まとめを実施する
8	解説	振り返り・解説
9	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師に求められる義務
10	第3章 理容師法・美容師法 第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章 理容師法・美容師法 第3節	管理美容師
12	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する
15	解説・総まとめ	振り返り・解説

16	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
19	第4章 関連法規	衛生に関連する法律
20	第4章 関連法規	業の振興に関連する法律、雇用に関連する法律、消費者保護に関連する法律
21	まとめ	まとめを実施する
22	解説	振り返り・解説
23	第1章 第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する
27	解説	振り返り・解説
28	総復習（1）	国家試験過去問演習等
29	総復習（2）	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	衛生管理		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解する。				
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけでなく、業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	衛生管理Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田山 子織	実務経験	○		
実務内容	総合病院と診療所で看護師として15年勤務をした実務経験を基に、美容師国家試験に必要な衛生管理の知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論	消毒とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
2	第4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論	消毒とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
3	第4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法(消毒条件・特徴) すぐれた消毒法と実施上の注意
4	第4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法(消毒条件・特徴) すぐれた消毒法と実施上の注意
5	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習(1)	消毒薬の概要、消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
6	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習(1)	消毒薬の概要、消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
7	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の消毒の実際
8	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の消毒の実際
9	第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領①	第1 目的～第4 衛生的取扱い等
10	第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領②	第1 目的～第4 衛生的取扱い等
11	第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領③	第5 消毒～第6 自主的管理体制
12	第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領④	第5 消毒～第6 自主的管理体制
13	まとめ	衛生管理技術、衛生管理の実際 まとめを実施する
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う

16	公衆衛生	公衆衛生のまとめと問題演習
17	公衆衛生	公衆衛生のまとめと問題演習
18	環境衛生	環境衛生のまとめと問題演習
19	環境衛生	環境衛生のまとめと問題演習
20	感染症	感染症のまとめと問題演習
21	感染症	感染症のまとめと問題演習
22	感染症	感染症のまとめと問題演習
23	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	化粧品化学		
必修選択	必修	(学則表記)	化粧品化学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	化粧品化学		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や化粧品等に関する化学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。 「美容技術理論」、及び「美容実習」と関連させながら、実際の知識の習得する。				
到達目標	美容の化粧品化学・美容機器・化粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用ができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	衛生管理、保健、美容技術理論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	山本 和平	実務経験	○		
実務内容	病院で薬剤師として、5年勤務をした実務経験を基に、美容器具や化粧品等に関する化学的知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編 第1章：化粧品総論 第2章：化粧品を使用する際に気を付けること	化粧品の社会的意義を踏まえ、その有効性と安全性を確保するための国による規制やメーカーの対応などから使用する際の注意その他
2	第3章：化粧品の成り立ち 「水と親水性溶媒」	溶質と溶媒、有機・無機化合物、アルコールの種類と特徴のまとめ
3	第3章：化粧品の成り立ち 「油性原料」「界面活性剤」	油性原料（油脂、ロウ類、炭化水素、高級脂肪酸、高級アルコール、シリコーン油など） 界面活性剤の種類と性質
4	第3章：化粧品の成り立ち 「高分子化合物」「色材」	高分子化合物（天然・半合成・合成） 色材（無機顔料・タール色素など）
5	まとめ総合および中間試験	1~4回までの総復習および中間試験
6	第3章：化粧品の成り立ち 「天然色素」「香料」「配合原料」	天然色素、香料、配合原料（防腐剤・紫外線吸収剤・酸化防止剤・取れん剤など）合成樹脂など
7	第2編 第1章：スキンケア製品①	クレンジング用化粧品・コンディショニング用化粧品（クリーム・乳液を含む）とエモリエント剤の復習
8	第2編 第1章：スキンケア製品②	トリートメント用化粧品・サンケア製品・美白用化粧品・ニキビ用化粧品・打粉類・バック剤
9	第2編 第2章：メイクアップ製品	ベースメイクアップ製品、アイメイクアップ製品、まつ毛ケア製品、ネイルメイクアップ製品
10	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品①	ヘアクレンジング用化粧品、ヘアコンディショニング用化粧品、ヘアスタイリング料・総復習
11	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品②	パーマ剤（パーマの原理、分類など）
12	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品③	ヘアカラー製品・スカルプケア製品
13	まとめ総合および期末試験	6回から12回までの総復習および期末試験
14	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
15	前期総まとめ	前期総まとめ

16	前期内容確認	前期で学習した内容を総復習しながら、不十分な範囲などを補足する
17	化学範囲補充	教科書化学範囲（関連事項）について補足授業
18	化粧品化学総合①	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
19	化粧品化学総合②	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
20	化粧品化学総合③	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
21	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
22	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
23	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
24	まとめ総合および期末試験	期末試験（全範囲）
25	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		60
使用教材	オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する。				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-E				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	小澤 樹里 他3名	実務経験		○	
実務内容	ヘアサロンにて美容師として20年以上勤務をしている実務経験を基に、美容師国家試験に必要な技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウェーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生(技術における衛生上の取り扱い) 1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき(ウエーブ・リッジ)、計測27分
2	オールウェーブセッティング	1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき(ウエーブ・リッジ) 復習、計測27分～25分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール導入(手順、スライス、ピンニング)、美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測25分～20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール導入
5	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール導入
6	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール復習、強化、7段目クロッキノールカール導入
7	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール、7段目クロッキノールカール復習、強化、7段構成全体のバランス
8	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティングまとめを実施する 1段目～3段目、くり抜き、4段目右リフトカール、5段目左リフトカール計測26分 6段目メイボール、7段目クロッキノールカール復習、強化、計測、7段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	7段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測4段目～7段目カール12分 7段構成 計測35～30分、美容師国家試験衛生
10	オールウェーブセッティング	7段構成 計測35～30分 美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング	7段構成30～25分 美容師国家試験衛生
12	オールウェーブセッティング	7段構成30～25分 美容師国家試験衛生
13	オールウェーブセッティング	7段構成25分 美容師国家試験衛生
14	オールウェーブセッティング 総まとめ	7段構成25分 総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - B		
開講					
年次	2年	学科	美容科	単位数	2
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する。				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ - C・美容実習Ⅱ - D・美容実習Ⅱ - E				
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	小澤 樹里 他3名	実務経験	○		
実務内容	ヘアサロンにて美容師として20年以上勤務をしている実務経験を基に、美容師国家試験に必要なワインディングとカット技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション ワインディング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測プロッキング込み 全頭巻き22分～20分
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測プロッキング込み 全頭巻き22分～20分
4	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測プロッキング込み 全頭巻き20分
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測プロッキング込み 全頭巻き20分
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測プロッキング込み 全頭巻き20分
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測プロッキング込み 全頭巻き20分
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測プロッキング込み 全頭巻き20分
9	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 全島計測20分でまとめを実施する
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
13	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
14	ワインディング 総まとめを実施する	ワインディング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション 国家試験カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい カット手順再確認
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カットिंगのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カットिंगのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
4	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カットिंगのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
9	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
12	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
13	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
14	国家試験カット 総まとめを実施する	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り 課題到達目標の確認

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - C		
開講					
年次	2年	学科	美容科	単位数	3
使用教材	ワインディング教材一式 オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する。				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% オールウェーブ：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「オールウェーブセットティング」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	小澤 樹里 他3名	実務経験	○		
実務内容	ヘアサロンにて美容師として20年以上勤務をしている実務経験を基に、美容師国家試験に必要なワインディングとオールウェーブ技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
9	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

各回の展開【オールウエーブセッティング】		
回数	単元	内容
1	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
2	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
3	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
4	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
5	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
6	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
7	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
8	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
9	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
11	オールウエーブセッティング 総まとめ	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-D		
開講					
年次	2年	学科	美容科	単位数	3
時間数	90				
使用教材	オールウェーブ教材一式 カット教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説		出版社	公益財団法人美容師試験研修センター	
	三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート				

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カットの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する。 美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する。				
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題オールウェーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。				
評価基準	国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 各校フリー：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「各校フリー」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。 				
担当教員	小澤 樹里 他3名	実務経験	○		
実務内容	ヘアサロンにて美容師として20年以上勤務をしている実務経験を基に、美容師国家試験の美容師国家試験カットについて合格に必要な技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-E		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウェーブ教材一式・カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する。				
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する。				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-D				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	小澤 樹里 他3名	実務経験	○		
実務内容	ヘアサロンにて美容師として20年以上勤務をしている実務経験を基に、美容師国家試験のワインディング技術・国家試験カットについて合格に必要な技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する
8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題 総まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	教本・花嫁テキスト・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ひも(モスリン(4点) 仮ひも(1))・和装スリッパ(下着)・クリップ(5本セット) 足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付も習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける。				
到達目標	礼装・花嫁着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、業界で通用する人材となる。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け2級(5月強制受験 免許強制) ・花嫁着付3級(12月強制受験 免許強制) を取得することができる。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会 きもの着付け資格				
関連科目	美容実践Ⅰ-C				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	鶴岡 幸子 他1名	実務経験	○		
実務内容	舞踊集団・菊の会で35年、KWプロジェクトで7年、日本舞踊を基本に舞踊会での着付け、成人式・前撮り等の着付けに関わっている実務経験を基に、着付けの知識と技術を向上させ、ブライダル着付けの技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方 3	考査票の記入、振袖着付を仕上げる(検定対策)
2	振袖の着せ方 4	振袖着付を仕上げる(検定対策)
3	振袖の着せ方 5	振袖着付を仕上げる(検定対策)
4	振袖の着せ方 6	振袖着付を仕上げる(検定対策)
5	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
6	検定試験	きもの着付2級検定試験を実施する
7	留袖の着せ方 1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について、検定結果通知
8	留袖の着せ方 2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
9	浴衣の着方 男性浴衣の着せ方	女性浴衣の自装 半幅帯バリエーション 男性浴衣について
10	座学 1	着物のTPO(プリント③④)を学ぶ
11	花嫁着付内容説明	デモンストレーション、小物の準備/使い方/片付けについて
12	花嫁着付 1	補整の説明と仕方、長襦袢の着付を学び実践する
13	花嫁着付 2	補整の仕方、長襦袢の着付を実践する
14	花嫁着付 3	補整、長襦袢、掛下の着せ方(衿合わせ)を学び実践する
15	総合学習	花嫁着付と総まとめを行う

16	花嫁着付 4	考查票の記入、補整、長襦袢、掛下の着せ方（裾引き）を学び実践する
17	花嫁着付 5	掛下までの着付を実践（復習）する
18	花嫁着付 6	掛下の着付の実践（復習） 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
19	花嫁着付 7	掛下の着付の実践（復習） 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
20	花嫁着付 8	掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
21	花嫁着付 9	掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
22	花嫁着付 1 0	掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
23	花嫁着付 1 1	掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
24	検定向上会	総仕上げ、テストの流れについて
25	検定試験	花嫁着付け 3 級検定試験を実施する
26	打掛の掛け方	掛下に文庫結び、お絡げ・裄どり・お掻い取り、検定結果通知
27	引き振り袖	花嫁の変わり結びを学び実践する
28	紋服	紋服について、紋服・袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
29	女袴	女袴について、女袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
30	総合学習	国家試験対策としてテストを実施、解説する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	教本・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも (モスリン(4点))・和装スリッパ(下着)・クリップ(2本 セット)足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることができる。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け3級(6月強制受験 免許強制) ・きもの着付け2級(12月強制受験 免許任意) を取得することができる。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会 きもの着付け資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	海老澤 秀子 他1名	実務経験	○		
実務内容	着付け師として勤務をしている実務経験を基に、着付けに必要な知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考查票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方 1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方 2	小紋の着付(裾線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方 3	小紋の着付(お端折の作り方)を学び実践する
5	小紋の着せ方 4	半幅帯(蝶結び)の結び方を学び実践する 小テスト(着物の名称)を実施する
6	小紋の着せ方 5	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
7	小紋の着せ方 6	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
8	小紋の着せ方 7	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	着付け3級検定(小紋の着付と蝶結び(20分))を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学 1	着物の名称と用語(プリント①②)について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方(自装)と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	小紋と名古屋帯1	お太鼓結びでの普段着(小紋)着付を学び実践する
14	小紋と名古屋帯2	お太鼓結びでの普段着(小紋)着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付(お太鼓結び)と総まとめを行う

16	振袖の着せ方 1	授業の流れ、到達目標について説明する、考查票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
17	振袖の着せ方 2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
18	振袖の着せ方 3	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
19	振袖の着せ方 4	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
20	振袖の着せ方 5	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
21	振袖の着せ方 6	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
22	振袖の着せ方 7	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
23	振袖の着せ方 8	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
24	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
25	検定試験	きもの着付け 2 級検定試験（振袖にふくら雀 3 0 分）を実施する
26	座学2	着物のTPO（プリント③④）を学ぶ
27	留袖の着せ方 1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
28	留袖の着せ方 2 紋服の着せ方	三重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ 紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について
29	女袴の着せ方	女袴の着せ方について学び実践する
30	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	各校就職ガイドBOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける。				
到達目標	就職希望サロンを明確にし、内定取得に向けての知識心構えが身に付いている。				
評価基準	テスト：50% 提出物：30% 授業態度：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	渡邊 一仁	実務経験	○		
実務内容	美容室にて美容師として15年勤務した実務経験を基に、就職活動に必要な知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職指導の目的	就職指導を行う目的を理解しスケジュールを確認する
2	企業研究選定①	希望サロン職種企業について調べる・履歴書指導
3	企業研究選定②	希望サロン職種企業について調べる・履歴書指導
4	面接対策①	受験に備えての準備事前確認
5	面接対策②	(集団個人)面接のポイント、面接の流れ、人事担当が見ているポイントを知り、模擬面接の実施
6	面接対策③	(集団個人)面接のポイント、面接の流れ、人事担当が見ているポイントを知り、模擬面接の実施
7	面接対策④	(集団個人)面接のポイント、面接の流れ、人事担当が見ているポイントを知り、模擬面接の実施
8	スケジュール管理	時間の使い方を見直しスケジュール管理の仕方を学ぶ
9	ビジネスメール①	ビジネスメールまたお礼状について知る
10	ビジネスメール②	ビジネスメールまたお礼状について知る
11	目標設定①	5年後、10年後の自分の目標を考える
12	目標設定②	プレゼンテーションに向けて内容をまとめる(5年後、10年後の自分)
13	前期テスト	プレゼンテーション
14	前期テスト(一般常識)	前期筆記テスト
15	前期振り返り、後期に向けて	前期の振り返りと後期の自身の就職の動きを考える

16	総合授業	総まとめ
17	自己分析	自分の強みや得意なこと、好きなことを再確認する（ブランディングについて）
18	実践ワーク	ケースステディ
19	実践ワーク	現場での電話対応を想定し実践する
20	実践ワーク	現場での受付の仕方を想定し実践する
21	実践ワーク	クレーム対応
22	実践ワーク	お客様とのトーク内容について考える
23	一般常識	一般常識プリント
24	テスト準備	1分トークの内容をまとめる
25	後期テスト（1分トーク）	1分トーク
26	後期テスト（一般常識）	後期筆記テスト
27	総合授業	テスト返却、解答 社会人に向けての心構え
28	総合授業	就職活動についての振り返り
29	総合授業	サロンに必要な知識
30	総合授業	サロンに必要な知識

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-A		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-A		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ドライヤー、ブラシ類、スタイリング剤 メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック(デジタルテキスト)		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【カット・パーマ・カラー】 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	【カット・パーマ・カラー】デザインに必要な要素を取り入れて作品を完成させる 【ベーシックメイク】メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践できるようになる。				
評価基準	【カット・パーマ・カラー】50% (テスト20% 提出物15% 授業態度等15%) 【ベーシックメイク】50%(実技テスト20%、提出物15% 授業意欲15%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容実践Ⅰ-A 美容技術理論Ⅰ サロンワークA				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「カット・パーマ・カラー」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	植木 美姫 他1名	実務経験	○		
実務内容	ビューティアドバイザーやメイクアップアーティストとして22年勤務した経験を基にヘア・メイクに必要な知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【カット・パーマ・カラー】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション/パーマ基礎	講師の自己紹介と生徒の自己紹介、美容師としての心構えなどの話、今後の授業で使うスパイラルパーマの巻き方を練習
2	スパイラルパーマ	オンベースで中間からしっかりと巻けるように反復練習(ポイントひじの角度とパネルを支える手のテンションがぶれないこと)
3	スパイラルパーマ,スタイルカット	スパイラルできちんと巻けるようになる 実際にウィッグにかける際の前上がりのメディアムレイヤーのベースカット
4	ウィッグにパーマをかける	前回カットしたウィッグにパーマをかける
5	フリーデザインパーマ	レングスは自由(ベリーショートはなし)スタイル構想(ロッド選定、はめ方、カットの展開図)
6	テスト①	カット、パーマでリアルサロンワークスタイルorクリエイティブスタイル
7	ブリーチワーク	前回の作品にブリーチをする(ルーツブリーチorハイライト、ポイントカラー)
8	ブリーチワーク/オンカラー	必要に応じて追いブリーチ・オンカラー(アルカリor塩基系)
9	コンテストウィッグで作品制作	スタイルの構想を練る(デッサン、必要なカット技術)
10	コンテストウィッグで作品制作、小テスト	実際にスタイル作成(フリーデザイン)
11	ベリーショート的设计カラー、カット	刈り上げやセニング、チョップカットの練習
12	デザイン構想	パーマ、ブリーチなど自由に使いウィッグを制作する
13	テスト②	ベリーショートウィッグのフリーデザインテスト
14	授業振り返り	今まで作った作品をお互いに振り返り、デザインの幅や創る、考える楽しさを認識する
15	まとめ	コンテストに向けた構想を考える

各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
16	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
22	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
23	ブレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
24	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
25	錯覚	錯覚について導入、実践
26	色、質感	色、質感について導入、実践
27	色、質感	色、質感について導入、実践
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト/振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - B		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック(デジタルテキスト) スマホアプリ(VOGUE/RUNWAY等)、雑誌(VOGUE/MODE ET MODE等)		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【特殊・アーティスト・モデルメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。
到達目標	<p>【特殊・アーティスト・モデルメイク】</p> <p>トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける 様々なメイクアップができる様に、発想力・表現力を身に付ける メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる</p> <p>【ベーシックメイク】</p> <p>メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践できるようになる。</p>
評価基準	<p>【特殊・アーティスト・モデルメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)</p> <p>【ベーシックメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)</p>
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)
関連科目	美容実践Ⅰ-B サロンワークB
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク) + (特殊・アーティスト・モデルメイク)
担当教員	植木 美姫 他1名
実務内容	百貨店にてビューティアドバイザーやメイクアップアーティストとして22年勤務した経験を基に、基本的なメイクから特殊メイクに至るまでの必要な知識・技術を教授する。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【特殊・アーティスト・モデルメイク】

回数	単元	内容
1	オリエンテーションベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	年代別のメイク①	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
4	年代別のメイク②	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
5	年代別のメイク③	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
6	年代別のメイク④	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
7	年代別のメイク⑤	テスト、振り返り
8	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践)テーマに合わせて行う
9	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践)テーマに合わせて行う
10	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(実践)テーマに合わせて行う
11	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(テスト)テーマに合わせて行う
12	スチールメイク③	テーマに合わせた作品制作の振り返り
13	作品制作①	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
14	作品制作②	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
15	総合授業	まとめを行う

各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト/振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		90
使用教材	【ブライダルエステ】教科書・クリエーナ化粧品セット・タオル類・消耗品類 【ベーシックメイク】メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社	【ブライダルエステ】日本エステティック協会、日本理容美容教育センター 【ベーシックメイク】ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【ブライダルエステ】身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を得習し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	【ブライダルエステ】ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。 【ベーシックメイク】メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践できるようになる。				
評価基準	・【ブライダルエステ】(実技試験40%(フェイシャル20%・ボディ20%)授業態度・提出物10%) ・【ベーシックメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、ブライダルメイク検定(任意) 認定フェイシャルエステティシャン、認定ボディエステティシャン				
関連科目	美容実践Ⅰ - C サロンワーク C				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク) + (ブライダルエステ)				
担当教員	植木 美姫 橋本 明美	実務経験	○		
実務内容	植木：ビューティアドバイザーやメイクアップアーティストとして22年勤務した経験を基にメイクの実践知識について教授する。 橋本：エステティックサロンにてエステティシャンとして11年勤務をした実務経験を基に、エステの技術を教授をする。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ブライダルエステ】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ボディエステティックとは	1コマ：教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ：1. ボディエステティックの目的と効果 2. ボディエステティックの流れ 1コマ：授業準備・ルールについて、ベッドセッティング
2	接客マナー（相モデル）	1コマ：ベッドセッティング 1コマ：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい 1コマ：基本動作・ベッド誘導
3	前操作（相モデル）	ボディトリートメント/手の使用部位 流れ 前操作デモ・練習
4	ボディマッサージ 下肢後面 1	デモ（塗布から） 手技練習・拭取り練習
5	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～ 下肢後面通し練習
6	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習
7	ボディ実技試験 成績評価1	ご案内-消毒-下肢後面マッサージ-ふき取り-誘導 ×2クール～4クール人数に応じて ※相モデル
8	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1コマ：1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ 1コマ：事前準備・基本動作・ベッド誘導 1コマ：基本手技・HOTタオルの流れシュミレーション
9	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモ ご案内-デコルテ1～7(美容技術)-HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
10	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモ ご案内-フェイシャル1～11(美容技術)-HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
11	フェイシャルマッサージ 3	クレンジング導入・デモ ご案内-全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り-整肌
12	フェイシャルマッサージ 4	通し練習 ご案内-フェイシャルクレンジング(技術編Iプリント)-マッサージ-ふき取り-整肌-誘導
13	フェイシャル実技試験 成績評価2	ご案内-フェイシャルクレンジング-マッサージ-ふき取り-整肌-誘導
14	マッサージ総合・マスク	1コマ：デモマスク塗布・ふき取り 通し練習 ご案内-消毒-クレンジング-マッサージ-マスク-ふき取り-整肌-誘導
15	総合授業	総まとめを行う

各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	ブレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト/振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - D		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - D		
開講					
年次	2年	学科	美容科	単位数	3
時間数					90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式			出版社	NPO法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った補強を学び、JNAジェル検定初級取得から中級までの技術やデザインジェルをマスターし、サロンで接客のできる技術を習得する。				
到達目標	基礎技術に加えてJNEC2級取得レベルに技術と共にJNAジェル検定初級に合格し、更に中級検定取得レベルを目指し、サロンワークに対応できる技術を身に付ける。				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級/JNAジェルネイル検定初級				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	阿佐美 文絵 他1名	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにおけるネイリストとしての7年間の勤務経験と、ネイルサロン・ネイルスクール経営に10年間従事した実務経験を基に、ネイルに必要な知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材チェック 1年次復習	導入・教材チェック1年次復習
2	1年次復習	1年次復習
3	1年次復習	1年次復習
4	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを学ぶ
5	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを練習する
6	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを学ぶ
7	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを練習する
8	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを学ぶ
9	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを練習する
10	ジェル検定中級 第一課題 筆記試験	第一課題を通して練習する。 ジェルの筆記試験
11	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
12	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
13	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
14	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
15	総合授業	総まとめを行う

各回の展開		
回数	単元	内容
1	導入・教材チェック 一年次復習	導入・教材チェック一年次復習
2	一年次復習	一年次復習
3	一年次復習	一年次復習
4	2級検定説明 チップラップ	チップラップを学ぶ
5	チップラップ 実技	相モデルにて実技
6	2級後半 実技	JNEC2級後半実技タイムトライアル
7	2級 通し	2級の実技を通して練習する
8	2級 通し	2級の実技を通して練習する
9	実技試験	2級内容
10	実技試験	2級内容
11	筆記試験 トリートメント 実技	2級内容の筆記試験 トリートメントを学ぶ
12	エンボスアート 実技	エンボスアートを学ぶ
13	3Dアート 実技	3Dアートを学ぶ
14	ミックスメディア アート	総合的なアートを作成する
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-E		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	【ネイル検定対策】 JNAテクニカルシステム ベーシック、ネイル用具一式 【ベーシックメイク】 メイク道具一式、メイクアップテキストベースシック(デジタルテキスト)			出版社	【ネイル検定対策】 NPO法人日本ネイリスト協会 【ベーシックメイク】 ユアサポート

科目の基礎情報②

授業のねらい	【ネイル検定対策】 基礎的なマニキュア技術を実践でき、JNEC3級検定取得と様々なアート技術を学び、説明し実践できる 【ベーシックメイク】 スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	【ネイル検定対策】 ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、サロンワークで対応できる爪の補強やアートを習得 【ベーシックメイク】 メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	・ 【ネイル検定対策】 (検定結果15%・授業態度他5%・筆記テスト15%・実技テスト15%) ・メイク(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト技能検定3級(任意)・JNAジェルネイル検定初級(任意) 2年4月 2年7~12月 メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容実践Ⅰ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク) + (ネイル検定対策)				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ネイル検定対策】

回数	単元	内容
1	プレパレーションデモ リペア(シルクラップ)デモ・実技	ラップ素材を使用して爪の修正を学ぶ
2	2級検定説明(2級検定DVD) 2級検定実技	2級検定について説明し受験希望者を確認
3	チップオン・チップラップデモ 相モデル	チップによる付け爪の習得
4	チップオン・チップラップ相モデル	
5	チップオン・チップラップ相モデル	
6	トリートメントデモ 相モデル・ケア・トリートメント	サロンワークに必要なトリートメント
7	エンボスアート	エンボスアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
8	エンボスアート	
9	ミックスメディアアート	3Dアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
10	ミックスメディアアート	
11	チップラップ実技	テスト前に技術の再確認
12	実技試験(2級と同じ内容)	実技試験 JNEC2級検定受験内容に準じる
13	実技試験(2級と同じ内容)	実技試験 JNEC2級検定受験内容に準じる
14	筆記試験 実技練習	筆記試験 JNEC2級検定受験内容に準じる 実技試験の振り返り
15	総合授業	総まとめを行う

各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	ブレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト/振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - F		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - F		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	HAIR COLOR ACADEMYのwebコンテンツ、ウィッグ、ヘアカラー教材一式、メイク道具一式		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ヘアカラーリスト⇒応用的なカラーの考え方が理解・実践できる。 ベーシックメイク⇒スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	ヘアカラーリスト⇒コントラストハイライト、バレイヤージュ、シャドールーツのプロセスが明確で、適切に施術できる。狙った色味を表現できる。ベーシックメイク⇒メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式で実施する。 この科目は「ヘアカラーリング」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ネイル検定対策】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的・評価基準・マニュアル説明 教材確認(教材の名称・扱い方・管理方法)、前期の振り返りを行う
2	実技テスト	ブリーチ+オンカラー+薬剤選定についてテストを行う
3	コントラストハイライトとは①	HAIR COLOR ACADEMY コントラストハイライトについて
4	コントラストハイライトとは②	コントラストハイライト 練習とチェックを行う
5	コントラストハイライトとは③	コントラストハイライト 練習とチェックを行う
6	バレイヤージュとは①	バレイヤージュの練習を行う
7	バレイヤージュとは②	バレイヤージュ練習とチェックを行う
8	バレイヤージュとは③	バレイヤージュ練習とチェックを行う
9	シャドールーツとは①	HAIR COLOR ACADEMYシャドールーツ(弱)の練習
10	シャドールーツとは②	シャドールーツ練習とチェックを行う
11	シャドールーツとは③	シャドールーツ練習とチェックを行う
12	自由制作	画像を参考に1つのスタイルを作る①
13	自由制作	画像を参考に1つのスタイルを作る②
14	発表会	施術工程、薬剤選定の理由も理論的に発表を行う
15	総合授業	前期振り返りを行う

各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト/振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークA		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	VRゴーグル、スタイリング道具、カラー道具		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	①VR動画学習やサロン実習の体験を通し、自身の美容師としてのビジョンを明確にする。 ②明確化されたビジョンから逆算して、必要なスキルを学ぶ。				
到達目標	サロンワークに慣れていくこと。				
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	美容実習Ⅱ-A・B・C・D・E 美容実践Ⅱ-A				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	森川 洋 他1名	実務経験	○		
実務内容	美容師としてサロンに20年以上勤務している経験を基に、ヘア・カラーリングに必要な知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【カットカラー・シャンプー】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	挨拶、自己紹介、最終目標の確認
2	テクニック	カットⅠ
3	テクニック	カットⅡ
4	テクニック	デザインカラー バレイヤージュⅠ
5	テクニック	デザインカラー バレイヤージュⅡ
6	テクニック	デザインパーマ ミザンフォルムⅠ
7	テクニック	デザインパーマ ミザンフォルムⅡ
8	総合授業	デザインパーマ ミザンフォルムⅡ
9	総合授業	デザインパーマ ミザンフォルムⅡ
10	総合授業	ヘアショー準備
11	総合授業	ヘアショー準備
12	総合授業	ヘアショー準備
13	総合授業	ヘアショー準備
14	総合授業	ヘアショー準備
15	まとめ	前期振り返り

16	オリエンテーション・チャンプー	この授業の目的・評価基準・チャンプー（席の誘導・お流し）
17	チャンプー 2	チャンプー（1シャン）
18	チャンプー 3	チャンプー（1シャン～2シャン）
19	チャンプー 4	チャンプー（通し）
20	チャンプー 5	チャンプー（通し）
21	チャンプー 6	チャンプー（通し）
22	AWA-1	チャンプーNo.1決定戦
23	卒業制作準備	卒業制作方法・構成・内容の決定
24	卒業制作準備	チーム分け、デザイン構成、担当決め
25	卒業制作準備	ヘアメイクリハーサル
26	撮影	ヘアメイクデモ（予定）
27	卒業制作準備	最終決定
28	卒業制作	卒業制作
29	卒業制作	卒業制作
30	振り返り	一年の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークB		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	①(ヘア)ヘアアレンジテキスト・ヘアアレンジ道具一式 カメラ機材(※各校にて可能な範囲)筆記用具・ノート…ファイル ②まつ毛) ABE text book(座学)・まつ毛エクステンション用具(実技)		出版社	①ユアサポート ②公益財団法人 理容師美容師試験教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①1年次に学んだ基礎技術を活用しシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。 作りたいヘアメイクのデザインには、どの様なライトやバック紙を選択すれば良いかを知る。 ②まつ毛エクステンションの知識及び、技術を学ぶ。				
到達目標	①・ブライダル知識を身に着け、様々なスタイル技術を習得する。 ・お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する ・バック紙等、背景の違いによるメイクアップ効果の違いを知る ・様々なシーンに合わせた背景を選べるようになる ②・理容師美容師試験教育センター (ABE:まつ毛エクステンション分野の協会) 主催の検定取得。 ・アーティスト、アイデザイナーになるための知識や技術を習得する				
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	美容実習Ⅱ-A・B・C・D・E 美容実践Ⅱ-A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	岡崎 美寿々 ・ 佐藤 菜美		実務経験	○	
実務内容	岡崎:原宿のヘアメイク事務所に8年従事した実務経験を基に、ヘアアレンジの幅を広げる技術を教授する。 佐藤:まつげエクステサロンを14年経営している実務経験を基に、アイラッシュの技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ヘアアレンジ・アイラッシュ】

回数	単元	内容
1	ヘアアレンジ	オリエンテーション
	まつ毛	オリエンテーション
2	ヘアアレンジ	ビューティーショー①
	まつ毛	まつ毛エクステンション概論(座学) ワゴンセッティング(実技)
3	ヘアアレンジ	ビューティーショー②
	まつ毛	まつ毛エクステンション用具(座学) 衛生と消毒(実技)
4	ヘアアレンジ	ビューティーショー③
	まつ毛	衛生管理(実技) まつ毛エクステンション技術(実技)
5	ヘアアレンジ	ビューティーショー④
	まつ毛	衛生管理(実技) まつ毛エクステンション技術(実技)
6	ヘアアレンジ	ビューティーショー⑤
	まつ毛	衛生管理(実技) まつ毛エクステンション技術(実技)
7	ヘアアレンジ	ビューティーショー⑥
	まつ毛	保健(座学) まつ毛エクステンション技術(実技)
8	ヘアアレンジ	ビューティーショー⑦
	まつ毛	テーピング(座学) まつ毛エクステンション技術(実技)
9	ヘアアレンジ	ビューティーショー⑧
	まつ毛	保健(座学) まつ毛エクステンション技術(実技)

10	ヘアアレンジ	スタイル作り①	列席スタイル①シニヨンスタイル
	まつ毛	保健(座学) まつ毛エクステンション技術(実技)	(座学) 保健理論 (実技) テーピング/カール装着
11	ヘアアレンジ	スタイル作り②	列席スタイル②えり足抱き合わせ
	まつ毛	リムービング(座学) リムービング(実技)	(座学) リムービング (実技) リムービング
12	ヘアアレンジ	スタイル作り③	新日本髪
	まつ毛	カウンセリング(座学) まつ毛エクステンション技術(実技)	(座学) カウンセリング理論 (実技) テーピング/カール装着/リムービング
13	ヘアアレンジ	スタイル作り④	テーマに合わせた作品作り(洋髪①)
	まつ毛	保健(座学) まつ毛エクステンション技術(実技)	(座学) 保健理論 (実技) テーピング/カール装着/リムービング
14	ヘアアレンジ	スタイル作り⑤	テーマに合わせた作品作り(洋髪②)
	まつ毛	小テスト(座学) まつ毛エクステンション技術(実技)	(座学) 小テスト (実技) タイムトライアル
15	ヘアアレンジ	総合	総合まとめ
	まつ毛	小テスト(座学) まつ毛エクステンション技術(実技)	(座学) 小テスト (実技) タイムトライアル
16	ヘアアレンジ	オリエンテーション バック紙の使い方と効果	オリエンテーション(後期の流れ・作品撮影・ヘアメイク運動について) 授業の目的目標、評価基準、授業ルール
	まつ毛	まつ毛エクステンション技術(実技)	(実技) セッティング・カール装着・リムービング
17	ヘアアレンジ	白バック紙にて撮影①	白いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	まつ毛エクステンション技術(実技)	(実技) タイムトライアル
18	ヘアアレンジ	白バック紙にて撮影②	白いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	復習(座学)	(座学) 復習
19	ヘアアレンジ	白バック紙にて撮影③	白いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学) (実技) 検定試験に向けて対策を行う
20	ヘアアレンジ	黒バック紙にて撮影①	黒いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学) (実技) 検定試験に向けて対策を行う
21	ヘアアレンジ	黒バック紙にて撮影②	黒いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学) (実技) 検定試験に向けて対策を行う
22	ヘアアレンジ	黒バック紙にて撮影③	黒いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学) (実技) 検定試験に向けて対策を行う
23	ヘアアレンジ	野外のロケーションにて撮影①	野外のロケーションで、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学) (実技) 検定試験に向けて対策を行う
24	ヘアアレンジ	野外のロケーションにて撮影②	野外のロケーションで、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学) (実技) 検定試験に向けて対策を行う
25	ヘアアレンジ	カラーバック紙にて撮影①	カラーバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学) (実技) 検定試験に向けて対策を行う
26	ヘアアレンジ	カラーバック紙にて撮影②	カラーバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学) (実技) 検定試験に向けて対策を行う
27	ヘアアレンジ	カラーバック紙にて撮影③	カラーバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学) (実技) 検定試験に向けて対策を行う
28	ヘアアレンジ	作品制作①	テスト 自分でヘアメイクに合うライティングやバック紙を考え作品制作を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学) (実技) 検定試験に向けて対策を行う
29	ヘアアレンジ	作品制作②	テスト 自分でヘアメイクに合うライティングやバック紙を考え作品制作を行う
	まつ毛	検定	検定
30	ヘアアレンジ	総合授業	まとめを行う
	まつ毛	検定	検定

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークC		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークC		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。 ②「美」を通ず人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客ができる。 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級/JNAジェルネイル検定初級・中級				
関連科目	美容実習Ⅱ－A・B・C・D・E 美容実践Ⅱ－A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大城 麻奈 ・ 村上 恵美	実務経験	○		
実務内容	大城：結婚式場にてブライダルヘアメイクとして10年勤務した実務経験を基に、ヘアアレンジに必要な知識・技術を教授する。 村上：ネイルサロンにて施術者として6年勤務し、部門統括としてマネジメント職を経験した経験を基に、ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ブライダルヘア】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業内容・ブライダルとは？1年次復習
2	ブライダル知識	ブライダルヘアメイクの仕事・六輝
3	ブライダル知識	式の種類・ドレス・ブーケ・ヘッドパーツ
4	洋装スタイル	洋装ルーズスタイル・編み込み・ツイストスタイル
5	和装スタイル	和装・面出しスタイル・新日本髪
6	ビューティーショー①	ビューティーショー準備
7	ビューティーショー②	ビューティーショー準備
8	ビューティーショー③	ビューティーショー準備
9	ビューティーショー④	ビューティーショー準備
10	列席ヘア①	シニヨンスタイル
11	列席ヘア②	えり足抱き合わせ
12	教式スタイル	ダウンススタイル(アイロン)・(ヘアアド込み)
13	スタイル作り①	洋⇒洋のチェンジ・洋と和の2スタイル
14	スタイル作り②	課題スタイル/ヘアメイクの道具・心得
15	スタイル作り③	課題スタイル

各回の展開【フライダールネイル】		
1	導入・教材配布・テーブルセッティング	教材確認及び名称・用途説明 検定を意識したテーブルセッティングを学ぶ
2	ネイル概論 (P8~15) ポリッシュカラーリング 実技	歴史や技術体系を学ぶ ポリッシュの塗り方を学ぶ
3	小テスト ネイル概論 (P20~29) カラーリング (相モデル)	相モデルでポリッシュの塗り方を学ぶ
4	ジェルネイル概論 第一課題 相モデル	ジェルに関する知識を取得する ジェル検定に向けて第一課題を通して練習する
5	小テスト 第一課題 相モデル	ジェル検定に向けて第一課題を通して練習する
6	ジェルカラーリング 実技 オフ 実技	ジェルでのカラーリング方法と、ジェルのオフの方法を学ぶ
7	ジェルアート (ピーコック) 赤ジェル〜ピーコック 実技	初級の検定内容になっているジェルアートの技法を学び、練習する
8	第二課題 実技	第二課題をマスターする
9	第二課題 実技	第二課題をマスターする
10	筆記試験 検定説明・初級DVD	筆記試験を行う 検定内容を知る
11	ジェル検定初級 通し	第一課題から第二課題まで全てを通して練習をする
12	ジェル検定初級 通し	第一課題から第二課題まで全てを通して練習をする
13	実技試験 ジェル検定初級内容	実技試験を行う
14	実技試験 ジェル検定初級内容	実技試験を行う
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークD		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークD		
開講					
年次	2年	学科	美容科	単位数	4
時間数					120
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。 ②「美」を通ず人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客ができる。 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	美容実習Ⅱ-A・B・C・D・E 美容実践Ⅱ-A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐藤 菜美 ・阿佐美 文絵	実務経験			
実務内容	佐藤：まつげエクステサロンを14年経営している実務経験を基に、アイラッシュの技術を教授する。 阿佐美：ネイリストとしての7年間の勤務し、ネイルスクール経営に10年間従事した実務経験を基に検定対策とジェルネイルの基礎知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション、 道具確認、ワゴンセッティング	授業の流れとルール説明、道具確認とワゴンセッティング
2	概論、用具 まつ毛エクステーション実習①	まつ毛エクステーションの概論と用具の説明、 用具の消毒と手指消毒、ツイザーの持ち方、まつ毛のかき分け方
3	衛生管理 まつ毛エクステーション実習②	衛生管理、グルーの取り扱いと使用方法と紙でのまつ毛エクステーションの装着
4	保健（皮膚とまつ毛） まつ毛エクステーション実習③	皮膚とまつ毛の構造と病気、Jカールの装着
5	保健（眼） まつ毛エクステーション実習④	眼の構造と病気、Cカールの装着
6	テーピング、リムービングの 使い方と技術	テーピングとリムービングの使用法、ウィッグでのテーピング練習
7	カウンセリング まつ毛エクステーション実習⑤	カウンセリング、アフターケアの説明、装着復習
8	小テスト タイムトライアル①	復習テスト、検定試験実技の流れ
9	タイムトライアル②	タイムトライアル
10	小テスト タイムトライアル③	タイムトライアル
11	前期末テスト前準備	前期末テストの対策とテスト前準備
12	前期末テスト	前期末テスト
13	検定試験対策①、検定試験前準備	検定試験実技の対策と検定試験実技の前準備
14	検定本番	検定
15	試験振り返り	試験振り返りとフリーデザイン作成

16	2級検定実技	2級検定に向けて2級内容タイムトライアル
17	2級検定実技	2級検定に向けて2級内容タイムトライアル
18	2級検定実技	2級検定に向けて2級内容タイムトライアル
19	ケアカラートリートメント実技	ケアカラーを復習し、マッサージの手順を学ぶ
20	ケアカラートリートメント実技	ケアカラーを復習し、パラフィンパックの手順を学ぶ
21	ジェル中級実技相モデル	中級検定内容を学び、技術をマスターする
22	ジェル中級実技相モデル	グラデーション・フレンチ・長さだしの強化を行う
23	ジェル中級実技相モデル	中級の流れを理解し中級検定にむけてトレーニングを行う
24	ジェル中級実技相モデル ジェル検定中級筆記テスト対策	中級の流れを理解し中級検定にむけてトレーニングを行う
25	中級実技テスト	実技テスト行う（中級後半内容）
26	ジェル中級実技相モデル	中級後半タイムトライアル
27	中級筆記テスト・中級実技	中級筆記内容（30分）・その後実技
28	ジェルアートデザイン	今まで学んできたアート技術を使いデザインし、作品を仕上げる
29	ジェルアートデザイン	習ったデザインにプラスして流行のデザインなどの研究も含めて 様々なデザインを行う
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークE		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークE		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		120
使用教材	エステ用具一式		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する ②「美」を通ず人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客が出来る。 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	美容実習Ⅱ-A・B・C・D・E 美容実践Ⅱ-A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	オリエンテーション ボディエステティックとは	1コマ：教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ：1. ボディエステティックの目的と効果
2	1年次復習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディエステティックとは	1コマ：授業準備・ルールについて(各校) 1コマ：ベッドセッティング
3	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	接客マナー(相モデル)	1コマ：ベッドセッティング 1コマ：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい
4	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	接客マナー(相モデル)	1コマ：基本動作・ベッド誘導 ボディトリートメント/手の使用部位
5	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	前操作(相モデル)成績評価①	ボディトリートメント流れ 前操作デモ・練習

6	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面 1	デモンストレーション(塗布から) 手技練習・拭取り練習
7	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～ 下肢後面通し練習
8	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習
9	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面 4	ご案内-消毒-下肢後面マッサージ-ふき取り-誘導
10	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディ実技試験 成績評価②	ご案内-消毒-下肢後面マッサージ-ふき取り-誘導 成績評価②
11	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルエステティックとは 接客マナー(相モデル)	1コマ：1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ
12	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルエステティックとは 接客マナー(相モデル)	1コマ：基本手技・HOTタオルの流れシミュレーション 1コマ：練習
13	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモンストレーション ご案内-デコルテ1～7(美容技術)-HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
14	振り返り	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモンストレーション ご案内-フェイシャル1～11(美容技術)-HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
15	総合授業	総まとめを行う
	総合授業	総まとめを行う
16	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ 3	フェイシャルマッサージ通し練習
17	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ 4	フェイシャルマッサージ通し練習
18	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルクレンジング 1	クレンジング導入・デモンストレーション ご案内-全体クレンジング(ポイントなし)～ふき取り-整肌
19	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルクレンジング 2	クレンジング導入・デモンストレーション ご案内-全体クレンジング(ポイントなし)～ふき取り-整肌
20	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル	ご案内-全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り-整肌

21	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル	通し練習 ご案内-フェイシャルクレンジング(技術編Iプリント) -マッサージ-ふき取り-整肌-誘導
22	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル	通し練習 ご案内-フェイシャルクレンジング(技術編Iプリント)-マッサージ-ふき取り-整肌-誘導
23	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル実技試験 成績評価①	ご案内-フェイシャルクレンジング-マッサージ-ふき取り-整肌-誘導 成績評価①
24	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマスク 1	1コマ：デモンストレーションマスク塗布・ふき取り 1コマ：通し練習 ご案内-消毒-クレンジング-マスク-ふき取り-整肌-誘導
25	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマスク 2	通し練習 ご案内-消毒-クレンジング-マスク-ふき取り-整肌-誘導
26	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル総合	通し練習 ご案内-消毒-クレンジング-マッサージ-マスク-ふき取り-整肌-誘導
27	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル総合	通し練習 ご案内-消毒-クレンジング-マッサージ-マスク-ふき取り-整肌-誘導
28	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル総合	通し練習 ご案内-消毒-クレンジング-マッサージ-マスク-ふき取り-整肌-誘導
29	振り返り	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル実技試験 成績評価②	通し練習 ご案内-消毒-クレンジング-マッサージ-マスク-ふき取り-整肌-誘導
30	総合授業	総まとめを行う
	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークF		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークF		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	スタイリング道具、カラー道具		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する ②「美」を通ず人を魅了することへの表現力を身につける				
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客が出来る ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる				
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	美容実習Ⅱ－A・B・C・D・E・F 美容実践Ⅱ－A				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【アイラッシュ】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション/ブリーチ基礎	授業の目的や流れの説明/美容師としてのビジョンについてレポート作成、カラー練習
2	ブリーチ	ブリーチ技術理論、実践
3	ブリーチテスト	ブリーチ技術 テスト
4	キャリア形成	正しいキャリア形成するために必要なこと
5	ビューティーショーアドバイス授業	ビューティーショーの技術練習、コスチューム作成
6	ビューティーショーアドバイス授業	ビューティーショーの技術練習、コスチューム作成
7	カラー理論、薬剤選定	カラー理論、薬剤選定

8	人気スタイリストになるために必要なこと	人気スタイリストになるために必要なこと、アシスタントの内にやっておくべきこと
9	ブリーチデザイン	ブリーチデザイン、基礎知識
10	カラー理論、薬剤選定 実践	カラー理論の理解、薬剤選定方法
11	カラー理論、薬剤選定 タイムアタック	カラー タイムアタック
12	カラー理論、薬剤選定 テスト	カラー テスト
13	ウィッグ作品 構成	ウィッグ作品 構成知識
14	ウィッグ作品 仕込み	ウィッグ作品 仕込み実践
15	ウィッグ作品 作成	ウィッグ作品 完成

各回の展開【ネイル】

回数	単元	内容
16	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
17	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
18	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
19	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
20	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
21	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
22	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
23	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
24	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
25	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
26	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
27	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
28	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
29	振り返り	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
30	総合授業	まとめを行う